

宮崎大学・高知大学 合同ゼミ

文責 佐藤聡平 (Sohei Sato) 修士1年

参加者 ・修士1年

村上遼 (Ryo Murakami) アバシン・サマディ (Samadi Abasin)

・学部4年

岡建樹 (Tatsuki Oka) 皿良和樹 (Kazuki Sarara) 山下郎央 (Akio Yamashita)

林広大 (Kodai Hayashi) 國部雄大 (Yudai Kokubu) 武内大晋 (Taishin Takeuchi)

寺田亮介 (Ryosuke Terada) 深田尚嗣 (Naotsugu Fukada)

9月21日, 22日の2日間, 高知大学の方々, 大旺新洋株式会社の下村様と橋村様, 防災科学技術研究所の中澤様にお越しいただき, 合同ゼミを行った. 限られた時間の中で, 様々な意見をいただき, とても充実した2日間であった. また, 1日目の夜には懇親会が行われ, お互いの研究やプライベートについて語り合い, 親睦を深めることができた. 以下に, 2日間の発表プログラムと懇親会の様子を報告する.

1. 発表プログラム

・1日目

セッション1

「JICA 草の根事業 ネパール技術者への蛇籠の設計・施工指導」(下村様, 橋村様)

「防災科研における地盤耐震研究の取り組み」(中澤様)

・2日目

セッション2

「老朽化橋梁から軽量盛土への更新技術の確立に向けた基礎的研究」:(宮崎大院1年 村上)

「ため池堤防の防災技術に関する研究」(高知大院1年 芳本)

「土のうを利用した道路路盤の設計手法の開発に向けた検討」(宮崎大院1年 佐藤)

「Development of an Optimum Pavement Maintenance Strategies for the Road Network in Afghanistan」

(宮崎大院1年 Abasin)

セッション3

「学部4年生 研究発表」(國部, 皿良, 武内)

セッション4

「学部4年生 研究発表」(寺田, 林伸二郎, 深田, 山下, 岡, 林広大)

セッション5

「家屋の倒壊シミュレーションに関する研究」(高知大院1年 西村)

「蛇籠擁壁の耐震性に関する研究」(高知大院2年 柴原)

2. 合同ゼミ，懇親会の様子



写真 1. 企業の方々による講演（左：橋村様（大旺新洋），右：中澤様（防災科研））



写真 2. 学生による研究発表（左：村上君（宮崎大学），右：芳本さん（高知大学））



写真 3. 懇親会 集合写真



写真 4. 合同ゼミ 集合写真

3. 感想

高知大学の皆様、大旺新洋株式会社の下村様、橋村様、防災科学技術研究所の中澤様、宮崎での開催ということで、遠方から足を運んでくださりありがとうございました。台風が心配された中、なんとか開催することができて良かったです。2日間という限られた時間ではありましたが、様々なプレゼンや議論を通して、お互いにとっても有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。また、高知大学の学生は気遣いや言葉遣いがとても素晴らしく、見習うべきところが多いと感じました。夜の懇親会では、ゼミ中には話さないようなプライベートな会話もでき、親睦を深めることができました。宮崎を満喫していただけたか不安ではありますが、私たちにとっては非常に楽しく、貴重な2日間でした。今後も継続して、合同ゼミを行い、意見を言い合えればと思います。来年は高知にお邪魔できることを楽しみに研究に励みます。本当にありがとうございました。(M1 佐藤)

今回の合同ゼミでは、自身の研究発表、他大学や企業の方の発表を聞く機会を頂きました。地盤耐震の取り組みや蛇籠に関する研究など大変興味深いお話をしていただき、自分自身の成長に繋がったと感じました。特に、蛇籠に関する研究では、蛇籠の変形特性や実験について興味を持ちました。また、自身の研究発表では、自分自身、理解できていないところがあり、説明などを上手く行えなかったもので、これからさらに勉強していく必要があると感じました。最後に、今回、このような機会を頂いたことを誠に感謝しております。更なる自身の成長に繋げていきたいです。(M1 村上)

The joint collaborative lab to lab seminar between Miyazaki University and Kochi University was a great opportunity to share knowledge and experience in-betweens, through this collaborative two-day seminar and presentation we had the opportunity to present our research activities and outcomes to Kochi University students and in the same time we learned about the researches of Kochi University students as well. For me this experience was the best initiative for knowledge sharing. (M1 Abasin)

9月21、22日に宮崎大学で行われた宮崎大学と高知大学との合同ゼミに参加してみて、他大学の学生、院生の発表を聞くことは今後、自分の卒業論文を書いていくうえでとても参考になった。卒業論文の進め方、発表スライドの作り方などを参考に今後進めていこうと考えている。また、企業の方や高知大学の教授と話すことで今後の学習面、生活面を大事に行動しようと思えるようになった。高知大学では自分の知らない研究を行っており、とても面白い発表を聞くことができた。合同ゼミは中間発表前に行うことで、中間発表の練習ともなりとても有意義なゼミになったと思う。(B4 岡)

9月21～22日に高知大学の方と合同ゼミを行いました。企業の方と防災科学研究の方と院生の方の発表を聞きました。まず企業の方は、ネパールでの蛇籠の設計施工指導の話でした。蛇籠については、末次研の河野さんのおかげで知っていたので聞きやすかったです。ネパールでは重力式で施工してあり、確かに見た目頑丈そうだと思いますが、もたれ式のほうがコスト、点検、頑丈であることをつたえるのが大事だと思いました。防災科学研究では、地震の被害の研究をして

いました。こういったことをしているのは、地震が発生した際に役に立つなと思いました。院生の発表では、詳しすぎて、正直部分部分しか分かりませんでした。しかし、私の発表と違って、発表の流れであったり、パワーポイントの見やすさであったり、注目してほしいところの強調の仕方だったり工夫されていると感じました。私の発表したときは、事前に末次教授に教えてもらっていたのに、ふがいなくなったので申し訳ないなと思いました。今回の合同ゼミでは、いろんな研究が成されており、また、様々な視点から物事を考えて研究をしているのを感じました。自分も発表の仕方や、様々な視点から物事を考えて行きたいと思えるゼミになり、有意義でした (B4 皿良)

今回の合同ゼミは宮崎大学と高知大学の学生や教授に加え、一般企業や研究機関の方々と2日間にわたり行われた。1日目は一般企業として大旺新洋株式会社の方々と研究機関として防災科学技術研究所の方、計3名の発表が行われた。大旺新洋の方々は蛇籠についての内容であった。最近ネパール式がなぜ直立式なのか気になっていたのでこの機会に質問できてよかったと思う。防災科研の方はため池堤体についてであった。遮水シートの有無や敷き方による天端のクラック発生についての実験について、シートを中に入れるのではなく、上流側の法面に設置すればよいのではないかと考えていたが、遮水シートはある程度の拘束力が無いと機能しないとの説明があり、納得した。2日目は学生の発表が行われた。他大学の学生の発表を聞く機会は滅多にないので、発表の仕方やスライドの作り方に注意して各学生の発表を聞いていた。自身の発表については、緊張してうまく話せなかったので練習をしっかり重ねたいと思った。(B4 山下)

9月21.22日に行われた合同ゼミでは、高知大学や宮崎大学の院生の研究発表を聞くことができた。発表態度や質疑応答も的確であった。特に最後の院生の発表を聞く中で、研究に対する前向きな姿勢を感じることができた。また私自身も中間発表に向けての発表練習をすることができた。通常とは違う環境での発表であったため本番同様の良い緊張感をもって発表に挑むことができた。(B4 國部)

高知大学との合同ゼミという貴重な経験をさせて頂きました。自分の研究発表に対して教授から意見・質問を頂く機会はなかなかないので大変参考になりました。実際、中間発表での大きなアドバンテージになり中間発表であまり緊張せず発表出来ました。また、企業の方からの意見はとても参考になり、懇親会での会話は自分の今後の進路などを改めて考えるいい機会になりました。(B4 武内)

企業の方々の実際に海外の発展途上国で行なわれた事業についての発表など普段では耳にできないことなどを知ることができ、とても良い勉強になった。特に技術の提供だけで無く現地のもので代用できるかどうかが重要であることが印象的だった。また、高知大学の方々の発表では、同じ地盤系でもハード、ソフトどちらも様々な研究がされておりとても新鮮だった。(B4 寺田)

今回の合同ゼミでは企業や団体、また他大学の方々の研究や取り組みについて具体的にしるこ

とができ、貴重な経験となりました。大旺新洋株式会社様のセッションでは蛇籠の適応性や利用の意義について理解を深めることができました。また防災科学技術研究所様のセッションでは、実際の地震動を想定した実験の様子を見せていただき、地震をはじめとする災害の研究の様子を実感することができました。また高知大学の方々の発表では、他大学がどのような研究を行っているのかを知ることができ、スライド作成や発表方法においても真似すべきところがあり、刺激を受けました。また教授の方からも、自分の発表に対して意見を下さり、今後の研究に大変参考になりました。今回のゼミでは学ぶことが多く、大変意義のある時間となりました。(B4 深田)